

会員の皆様へ

日本行動計量学会第 36 回大会を下記の要領で開催いたします。是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

日本行動計量学会第 36 回大会
実行委員長 岩崎 学

記

1. 期日：2008 年 9 月 2 日(火)、3 日(水)、4 日(木)、5 日(金)の 4 日間
(9 月 2 日はチュートリアルセミナーのみ)

2. 会場：成蹊大学(受付:大学8号館1階、研究発表は8号館および4号館)

3. 参加費：

大会参加費(*)	正会員	学生(**)	賛助会員	非会員	期日
事前払込	5,000円	3,000円	5,000円	7,000円	6/2~8/15
当日支払	6,000円	4,000円	6,000円	10,000円	学会当日

懇親会費	正会員	学生(**)	賛助会員	非会員	期日
事前払込	4,000円	2,000円	4,000円	4,000円	6/2~8/15
当日支払	5,000円	3,000円	5,000円	5,000円	学会当日

(*) 大会参加費には論文抄録集 1 冊が含まれています。

(**) 学生には、会員、非会員の区別はありません(チュートリアルセミナーも同様)。

※振込手数料は各自ご負担くださいますようお願い致します。

4. 参加登録：参加登録は、大会ホームページからお願いします。E-mail でも受け付けますが、なるべくホームページから登録してください。メールの場合、「氏名(ふりがな)」、「所属」、「メールアドレス」、「事前参加費の合計」をお書き下さい。参加登録は大会参加の必須条件ではありませんが、参加費の事前払い込みをされる場合は必ずご登録下さい。登録期間・事前振込は 8 月 15 日(金)までですのでご注意ください。

5. 振込先：

口座番号：三菱東京 UFJ 銀行 吉祥寺(キチジョウジ)支店 (支店番号220)

普通 2642499

口座名義：日本行動計量学会 第36回大会 実行委員長 岩崎 学

(ニホンコウドウケイリョウガッカイ ダイサンジュウロクカイタイカイ イワサキ マナブ)

6. 抄録集：

発表論文抄録集は 1 冊 3,000 円で販売致します。大会不参加で抄録集の購入を希望される方は下記大会実行委員会まで E-mail でご連絡ください。

7. 連絡先

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1 成蹊大学理工学部 岩崎研究室内

日本行動計量学会第 36 回大会実行委員会

大会ホームページ：<http://www.seikeistat.jp/bsj2008/>

実行委員会メールアドレス：office_bsj2008@seikeistat.jp

発表される方へ

1. 一般セッションの発表時間は、質疑応答を含め原則として20分です。
2. 特別セッションの発表時間は、一般セッションに準じますが、司会者の裁量により多少変更される可能性があります。発表前に各自司会者にご確認ください。
3. 開催校側でご用意できる発表用の PC は Windows のみとなります。発表には液晶プロジェクタが利用できます。なお、Microsoft Office 2007 は対応しておりませんのでご注意ください。（Microsoft Office 2003 は使用できます。）
4. 発表用の資料は、原則として抄録集に掲載されたものとします。補足資料を利用する場合は、別に配布用プリントを約50部用意してください。
5. 発表予定時刻の30分前までに、発表者の方がご自身で受付を行ってください。

チュートリアルセミナー（日本行動計量学会運営委員会主催）

・開催日時と会場

日時： 2008 年 9 月 2 日（火） 第1テーマ：9:30 - 12:30, 第2テーマ：13:30 - 17:30

会場： 成蹊大学（〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1）

受付：大学 8 号館 1 階、実施会場へは当日ご案内します。

・プログラム

・第1テーマ：データ解析の鉄人に学ぶ！探索的データ解析～グラフィカルモデリングを中心に～

時間：9 月 2 日（火） 9:30 - 12:30

会場：成蹊大学 14 号館 2 階 202 室

講師：リコー品質本部 QM 推進室 室長 廣野元久 氏

形式：各自 Windows PC を持参し（必須ではないが）ソフトウェアを用いた実習を交える。

概要：探索的データ解析についての講義を行った後、Windows 向けに開発されたソフトウェア G-GM&L-GM を配布し、具体的なデータを使用した実習を行う。G-GM では量的変数、L-GM では質的変数を扱うことが出来、データのモニタリングから回帰分析、主成分分析、多重対応分析、量的／質的グラフィカルモデリングまで、幅広く実施可能である。

・第2テーマ：リコメンデーションの理論と実際

時間：9 月 2 日（火） 13:30 - 17:30

会場：成蹊大学 8 号館 1 階 101 室

講師：株式会社 Albert 代表取締役会長 山川義介 氏

株式会社 KDDI 研究所 小野智弘 氏

形式：教室における講義。

概要：Web ビジネスの推進において、最適な広告や商品・サービスを一人ひとり、さらにはそれを TPO に合わせて配信・推薦する「リコメンデーション」がキーテクノロジーとなってきた。本チュートリアルでは、代表的リコメンデーションエンジンのアルゴリズムを体系的に解説しつつ、株式会社 Albert および株式会社 KDDI 研究所で取り組んできた実務事例についても同時に紹介する。

・チュートリアルセミナーの参加費

チュートリアル(事前)	正会員	学生 (**)	賛助会員	非会員	期日
第1テーマのみ	3,000円	1,500円	3,000円	6,000円	6/2～8/15
第2テーマのみ	4,000円	2,000円	4,000円	8,000円	
第1 & 第2テーマ	6,000円	3,000円	6,000円	12,000円	
第1 & 第2 & 学会 (*)	3,000円	1,500円	3,000円	6,000円	
チュートリアル(当日)	正会員	学生 (**)	賛助会員	非会員	期日
第1テーマのみ	4,000円	2,000円	4,000円	8,000円	当日
第2テーマのみ	5,000円	2,500円	5,000円	10,000円	
第1 & 第2テーマ	7,000円	3,500円	7,000円	14,000円	
第1 & 第2 & 学会 (*)	4,000円	2,500円	4,000円	8,000円	

(*) (第1 & 第2 & 学会)は第1テーマおよび第2テーマに参加し、かつ9月3日からの大会にも参加した場合のチュートリアル参加費です。

(**) 学生には、会員、非会員の区別はありません。

・チュートリアルセミナーの参加登録

チュートリアルセミナーへの参加登録は、大会ホームページからお願いします。E-mailでも受け付けますが、なるべくホームページから登録してください。メールの場合には、「氏名(ふりがな)」、「所属(もしくは連絡先)」、「メールアドレス」、「事前参加費の合計」をお書き下さい。参加登録はチュートリアルセミナー参加の必須条件ではありませんが、参加費の事前払い込みをされる場合は必ずご登録下さい。登録受付期間は2008年6月2日(月)から8月15日(金)までです(大会参加費の事前払い込み期間と同じ)。

・振込先

大会参加費の振込先と同様

チュートリアルセミナー 日程表

9/2 (火)	9:30 - 12:30	チュートリアルセミナー 第1テーマ(14号館2階202室)
	昼食	
	13:30 - 17:30	チュートリアルセミナー 第2テーマ(8号館1階101室)

日本行動計量学会 第36回大会 日程表

		A 会場 8 号館 201 室	B 会場 8 号館 203 室	C 会場 8 号館 301 室	D 会場 8 号館 302 室
9/3 (水)	10:00 – 12:00	(特) 好みの計量	(特) 行動計量学的ア プローチによる栄養 教育の評価の試み	(一) 教育	(一) 多変量解析
	昼食				
	13:15 – 15:15	(特) CS マーケティ ング (1)	(特) 環太平洋 (アジ ア・太平洋) 価値観 国際比較調査	(特) 脳に於ける データ処理過程 の変化を測る	(一) IRT
	15:30 – 17:30	(特) CS マーケティ ング (2)	(特) 複雑系データの 分析	(一) 医学	(一) 統計理論
9/4 (木)	9:30 – 11:30	(特) 社会調査士資 格－これまでの経 緯と今後の展望－	(特) 「生と死」の 行動計量	(一) マーケ ティング	(一) 心理
	11:40 – 12:40	総会 (4 号館ホール)			
	昼食				
	13:30 – 15:30	3 5 周年記念シンポジウム「行動計量学的アプローチとは何か」 (4 号館ホール)			
	15:40 – 17:50	3 5 周年記念シンポジウム「社会調査の現状と課題」 (4 号館ホール)			
	18:00	懇親会 (10 号館 12 階ホール)			
9/5 (金)	10:00 – 12:00	(特) 統計教育の 新しい流れ	(特) 教育・医療現場で のコンピュータ適応 型テストの実用化	(特) 非対称デー タの解析 (1)	(一) 社会・調査
	昼食				
	13:00 – 15:00	(特) 統計解析に 数式はいるか？	(特) 市民社会の 調査と分析	(特) 非対称デー タの解析 (2)	(一) 言語

(特) 特別セッション (一) 一般セッション

9月2日(火) 午前 (9:30～12:30)

日本行動計量学会 第36回大会 チュートリアルセミナー

第1テーマ

データ解析の鉄人に学ぶ！探索的データ解析
～グラフィカルモデリングを中心に～

講師：廣野元久（リコー）

9月2日(火) 午後 (13:30～17:30)

日本行動計量学会 第36回大会 チュートリアルセミナー

第2テーマ

リコメンデーションの理論と実際

講師：山川義介（ALBERT） 小野智弘（KDDI 研究所）

9月3日(水) 午前 (10:00～12:00)

A会場 特別セッション 好みの計量

オーガナイザー・司会：芳賀麻誉美（電気通信大学）

1. 敏感肌用化粧水の開発のためのベイジアンネットワークの利用
芳賀麻誉美（電気通信大学） 征矢智美・荒木大作（カネボウ化粧品）
2. IDMによる広告キーワード戦略
松村真宏（大阪大学） 山本 晶（成蹊大学）
3. ECサイトにおける画像の類似性測定 ～『SUDACHI』の開発と商品推薦エンジンへの応用～
山川義介（ALBERT） 北 研二（徳島大学）
4. 回答時間による調査項目分類と適切性判定～インターネット調査の設計支援
芳賀麻誉美・ソナムアンボクボン・植野真臣（電気通信大学）
5. コンジョイント・レスポンスレイテンシー対比較法の開発～チョコレート製品開発における利用～
芳賀麻誉美（電気通信大学）

◇指定討論

水野 誠（筑波大学）

B 会場 特別セッション 行動計量学的アプローチによる栄養教育の評価の試み

オーガナイザー：安達美佐（国立保健医療科学院）

司会：山岡和枝（国立保健医療科学院）

1. 診療所における行動計量学を応用した栄養教育の評価
安達美佐（国立保健医療科学院） 金子伸子（厚木中町クリニック）
高見美智子（斉藤医院） 寺澤康子・西舘素子（栄養サポートネットワーク LLC）
2. 県立がんセンターNST における栄養管理と評価
中田恵津子（神奈川県立がんセンター）
3. 女子中学生の習慣的食事摂取量の評価 ―「食物摂取頻度調査票（FFQW82）青少年版」の妥当性と再現性―
渡辺満利子（昭和女子大学）
山岡和枝・丹後俊郎・安達美佐（国立保健医療科学院） 可知悠子（東京大学）
横塚昌子（昭和女子大学短期大学） 塩原明世・嵐 雅子（昭和女子大学）
4. 標準的な健診・保健指導プログラムを活用した栄養相談モデル事業における評価とその課題
古明地夕佳（神奈川県厚木保健福祉事務所）

◇指定討論

久保武士（龍ヶ崎済生会病院） 丸山久美子（聖学院大学）

C 会場 一般セッション 教育

司会：大津起夫（大学入試センター）

1. 気象データを用いた小中学生の計量感覚育成についての検討
今澤明男・直江伸至（金沢工業高等専門学校）
2. ヒップホップダンス受講生のフロー感覚に着目した類型化の試み
内山須美子・舩田真理子（白鷗大学）
3. An Analysis of Mathematics Achievement in US Middle and High School using Growth Model
田中大介・金澤雄一郎（筑波大学）
4. 学歴社会イメージの時点間比較：仙台高校生調査の分析
阿部晃士（岩手県立大学）
5. ランキング・評価のための社会調査にみられる回答バイアス：『大学ランキング』と『図書館年鑑』の比較から
岩本健良（金沢大学）
6. 多次元潜在変数モデルによるバグルールの類型化の試み
大森拓哉（多摩大学） 繁榊算男（東京大学）

D 会場 一般セッション 多変量解析

司会：狩野 裕（大阪大学）

1. 多変量解析を用いた公立図書館 Web ページのネットワーク構造の分類
河村俊太郎・鈴木崇史（東京大学）
2. Multilevel analysis of numbers of tobacco cessation programs for youth in communities
勢川英介・Sherry Emery・Susan J. Curry（University of Illinois at Chicago）
3. 群内の因子構造に基づくクラスター分析
中島 晃（北海道大学）
4. モデルに基づく信頼性及び最大信頼性の漸近標本分布
小笠原春彦（小樽商科大学）
5. 条件付共分散行列による因果のモデル化とベイズ推定
繁梶算男（東京大学）
6. RMSEA の区間推定
紺谷幸弘・狩野 裕（大阪大学）

9 月 3 日（水）午後 1 （13：15～15：15）

A 会場 特別セッション CSマーケティング（1）

オーガナイザー・司会：朝野熙彦（首都大学東京）

1. 消費者行動研究における顧客満足研究の系譜
奥瀬喜之（専修大学）
2. CS は管理可能なマーケティング目標になるか
朝野熙彦（首都大学東京）
3. 4C を構成概念とする顧客満足の測定
塚原新一・河原達也（ビデオリサーチ）
4. お客様総合満足度調査の実施と分析
平尾奈緒子（TOTO） 小代禎彦（筑波大学）
5. 顧客満足度を上げる商品レコメンデーション
山川義介（ALBERT）

B 会場 特別セッション 環太平洋（アジア・太平洋）価値観国際比較調査

オーガナイザー・司会：吉野諒三（統計数理研究所）

1. オバケ調査再考 ―環太平洋地域の人々の「合理」と「非合理」―
吉野諒三（統計数理研究所）
2. 生命観と文化：米国・ドイツ CATI 調査結果
山岡和枝（国立保健医療科学院）
3. 国家観の国際比較 ―東アジアの政治意識を中心に―
鄭 躍軍（総合地球環境学研究所）
4. 多母集団間の等値条件と連鎖的な比較分析 ―アジア・太平洋地域の繰り返し調査における組織に対する信頼を中心に―
松本 渉（統計数理研究所）
5. 階層意識と勤労観に関する文化多様体解析 ―環太平洋地域を中心に―
裴 岩晶（文部科学省科学技術政策研究所） 吉野諒三（統計数理研究所）
6. 社会心理的要因と健康について ―「信頼感」、「宗教」、「霊性」、...―
角田弘子・吉野諒三（統計数理研究所）
7. 宗教的な心について
林 文（東洋英和女学院大学） 小谷みどり（第一生命経済研究所）

C 会場 特別セッション 脳に於けるデータ処理過程の変化を測る－事象関連電位を手掛かりとして－

オーガナイザー・司会：船田眞里子（白鷗大学）

1. 分子量計算課題における学習過程の変化の計量
渋川美紀・船田眞里子（白鷗大学） 二宮理恵
2. 2次元図形と文字処理課題実行時の反復による変化の計量
清水 隆・渋川美紀・船田眞里子（白鷗大学）
3. 選択課題実行継続時の事象関連電位を用いた状態の変化の計量
渡辺敬史・渋川美紀・船田眞里子（白鷗大学） 二宮理恵
4. 事象関連電位による嘘と真実の差の計量
高橋幸宏・渋川美紀・船田眞里子（白鷗大学） 二宮理恵
5. 写真と線画を用いた感情判断の差に関するモデルを用いた変化の考察
船田眞里子・渋川美紀（白鷗大学） 船田 忠（立教大学） 二宮理恵

◇指定討論

二宮理恵（青山学院大学名誉教授） 中村洋一（茨城県立医療大学）

D 会場 一般セッション IRT

司会：吉田清隆（成蹊大学）

1. 項目反応理論におけるゼロ過剰データ解析
吉田清隆（成蹊大学）
2. 回答形式による項目パラメータ値の違いについて
張 一平（教育テスト研究センター）
3. 段階数を2としたときのニューラルテスト理論による項目分析
橋本貴充・荘島宏二郎（大学入試センター）
4. 予測変数の情報を利用した展開型項目反応モデル
宇佐美慧（東京大学）
5. IRT に昇降法を組み合わせたときの項目レベルの最適選定法
月原ゆき・作村建紀・廣瀬英雄（九州工業大学）
6. 反応時間分布の数理モデル化と視覚探索処理の分析
松下戦具（大阪大学）

9月3日(水) 午後2 (15:30~17:30)

A会場 特別セッション CSマーケティング(2)

オーガナイザー・司会：朝野熙彦(首都大学東京)

1. 初回献血者確保のためのCSマーケティング
田久浩志(中部学院大学) 岩本 晋(徳山大学) 今井常彦(東邦大学)
2. 生活満足の購買行動
藤居 誠(東急エージェンシー)
3. 同時購買数の違いを考慮したコンビニエンス・ストアでの併売パターンの分析
中山厚徳(立教大学) 鶴見裕之(流通経済研究所)
4. 留学生と日本人学生の比較調査
河野康成(立教大学)
5. マーケティングへの区間分析の適用研究
井上勝雄(広島国際大学)

◇指定討論

鈴木督久(日経リサーチ)

B会場 特別セッション 複雑系データの分析

オーガナイザー：水島友昭(インターネット総合研究所)

司会：丸山久美子(聖学院大学)

1. ネットワーク型データのクラスタリングについて
白山 晋(東京大学)
2. 統計的モデリングとしてのデータ同化と工学シミュレーションへの応用
中村和幸(統計数理研究所)
3. 液状化日本を複雑系的に捉えるための社会理論について考える
天野 徹(明星大学)
4. インターネット社会における複雑性の現状
水島友昭(インターネット総合研究所)

◇指定討論

岩崎 学(成蹊大学)

C 会場 一般セッション 医学

司会：坂本 亘（大阪大学）

1. 高校生のデート DV の実態調査結果について－青森県の場合
山田真司・山田典子（青森県立保健大学）
2. 小児がん患者の治療は集中化したか？－大阪府地域がん登録による－
筒井杏奈・大野ゆう子（大阪大学） 原 純一（大阪市立総合医療センター）
伊藤ゆり・津熊秀明（大阪府立成人病センター）
3. 喫煙習慣の臨床検査値への影響分析－BMI と中性脂肪に影響する因子の探索と禁煙後の特徴把握－
中村明日奈・大野ゆう子・清水佐知子・森本兼曩（大阪大学）
4. 食事と寿命
永江陽介（大阪電気通信大学）
5. 樹木画重心位置と抑うつ性尺度の相関
藤原 徹・宮田周平（医療法人社団神心会）
6. 一般化線形モデルに基づく ROC 曲線の推測
大江基貴・坂本 亘・白旗慎吾（大阪大学） 後藤昌司（医学統計研究会）
7. 新入生がいただくコンピュータ操作に対する不安の程度とその内容
安田 晃・平野章二・阿部秀尚・中國秀章（島根大学）
花田英輔（島根大学付属病院） 津本周作（島根大学）

D 会場 一般セッション 統計理論

司会：村上 隆（中京大学）

1. 空間的自己相関分析の拡張可能性について
渡辺 理（富士通研究所）
2. 個人差を考慮したベイズ推定による多次元尺度構成法
岡田謙介・繁樹算男（東京大学）
3. New Concepts of Bootstrap Posterior Probability on Metrized Sample Space of Empirical Distributions
岸 清武
4. マルチスケールブートストラップ法による因子数の選択
高井啓二・狩野 裕（大阪大学）
5. サポートベクターマシンにおけるモデル選択
梅原武志・狩野 裕（大阪大学）
6. Reformulation of Multiple Correspondence Analysis as Reduced Rank Approximation of Quantified Indicator Matrices
足立浩平（大阪大学） 村上 隆（中京大学）
7. 複数の比率が混在する時の信頼区間について
緑川修一・河村想一・宮岡悦良（東京理科大学）

9月4日（木）午前（9：30～11：30）

A会場 特別セッション 社会調査士資格－これまでの経緯と今後の展望－

オーガナイザー：林 文（東洋英和女学院大学）

司会：松本 渉（統計数理研究所）

1. 社会調査士資格認定機構の目指すこと
杉山明子
2. 大学における社会調査教育の実践例（１）－成蹊大学における社会調査士課程への取り組み－
小林 盾（成蹊大学）
3. 大学における社会調査教育の実践例（２）－立教大学における取り組み－
山口和範（立教大学）
4. 社会調査の現場から（１）－調査機関からみた社会調査士－
鈴木督久（日経リサーチ）
5. 社会調査の現場から（２）
小野寺典子（NHK 放送文化研究所）

B会場 特別セッション 「生と死」の行動計量

オーガナイザー・司会：丸山久美子（聖学院大学）

1. スピリチュアル・ケアの測定に関する文献研究
西山悦子（新潟大学）
2. 終末期医療におけるスピリチュアル・ケアの実際
宮崎貴久子（京都大学）
3. 日本人中高年の死生観と自殺念慮
小谷みどり（第一生命経済研究所）
4. 現代日本人青年の死生観と自殺念慮
丸山久美子（聖学院大学） 加藤 淳（南町田病院）

◇指定討論

折笠秀樹（富山薬科大学） 平山正実（聖学院大学）

C 会場 一般セッション マーケティング

司会：上田 徹（成蹊大学）

1. 四者比較データに基づく景観画像に対する好みのベイズ推定,
高見 聖・林 伸光・大森 宏（東京大学） 山下雅子（文教大学）
羽生和紀（日本大学） 斎尾乾二郎（東京大学）
2. 味覚評価データの試食順序が評点に及ぼす影響の解析（2）
日向智之・村上 隆（中京大学）
3. 単相データ分析におけるデータ形式の違いによる分析結果の影響について
横山 暁（慶應義塾大学） 岡太彬訓（多摩大学）
4. ブログにおける話題関心の減退曲線推定の試み
大浜毅美（日経リサーチ）
5. Changes in the networks due to proportional selection of terms after SVD: Web semantics studies
松田紀之（筑波大学） 竹内晴彦（産業技術総合研究所）
6. ディリクレ過程混合モデルを仮定した変量効果を含む一般化線形モデル
宮崎 慧・繁榊算男（東京大学）

D 会場 一般セッション 心理

司会：椎名乾平（早稲田大学）

1. 評定尺度判断の過程をカーソル軌跡によって推測する
椎名乾平（早稲田大学）
2. split population model による少年院処遇の再犯抑止効果の評定
遊間義一（埼玉工業大学） 金澤雄一郎（筑波大学） 國吉真弥（法務省）
3. 犯罪被害リスク認知とコミュニティ意識
島田貴仁（科学警察研究所）
4. 高齢者におけるフレーミング効果について 一意思決定方略との関係一
渡部 諭・澁谷泰秀（青森大学）
5. TIMSS2003 のデータを用いた控えめ仮説の定量的検討：階層的線形モデルにおけるサンプルサイズ決定法の適用例
奥村太一（東京大学）
6. The structural neurofield mapping: A latent rank model for multivariate data
荘島宏二郎（大学入試センター）

9月4日（木）午後1 （13：30～15：30）

4号館ホール 35周年記念シンポジウム「行動計量学的アプローチとは何か」

オーガナイザー：35周年記念事業企画委員会

司会：岩坪秀一（早稲田大学）

理事長挨拶：行動計量学と行動計量学会

飽戸 弘（東洋英和女学院大学）

1. 日本行動計量学会35年の歩みと行動計量的アプローチの発展

柳井晴夫（聖路加看護大学）

2. 医療サービスの計量分析ー理想的な周産期システム構築に必要な産科医・助産師の必要数推定ー

久保武士（龍ヶ崎済生会病院）

3. 新時代の行動計量学

植野真臣（電気通信大学）

4. 多変量データ解析法のタクソノミー

足立浩平（大阪大学）

9月4日（木）午後2 （15：40～17：50）

4号館ホール 35周年記念シンポジウム「社会調査の現状と課題」

協賛：日本世論調査協会，社会調査士資格認定機構

オーガナイザー：35周年記念事業企画委員会

司会：林 文（東洋英和女学院大学）

コメンテーター：木下富雄（国際高等研究所）

直井 優（原子力安全システム研究所）

1. 継続調査におけるサンプリング方法の実験比較

北田淳子（原子力安全システム研究所） 吉野諒三（統計数理研究所）

2. 郵送調査で高回収率を得るために

松田映二（朝日新聞社）

3. RDDの現状と課題

谷口哲一郎（輿論科学協会）

4. インターネット調査の役割と限界

大隅 昇・前田忠彦（統計数理研究所）

9月5日（金）午前（10：00～12：00）

A会場 特別セッション 統計教育の新しい流れ

オーガナイザー：竹内光悦（実践女子大学）

司会：橋本紀子（関西大学）

1. 大学における統計教育の現状と課題 ～大学における統計教育・研究実態調査の集計結果を踏まえて
竹内光悦（実践女子大学） 石岡恒憲（大学入試センター）
渡辺美智子（東洋大学） 林 文（東洋英和女学院大学） 竹村彰通（東京大学）
2. 大学院における統計教育の現状と課題 ～大学における統計教育・研究実態調査の集計結果を踏まえて
石岡恒憲（大学入試センター） 竹内光悦（実践女子大学）
渡辺美智子（東洋大学） 林 文（東洋英和女学院大学） 竹村彰通（東京大学）
3. 統計教育における統計グラフ教育の現状
中西寛子（成蹊大学） 深澤弘美（東京医療保健大学） 山本義郎（東海大学）
竹内光悦（実践女子大学） 大森拓哉（多摩大学）
4. 全国学力・学習状況調査問題に見る新しい教育の流れ
藤井良宜（宮崎大学）
5. 生徒参加型の統計学習環境の構築：日本版センサス@スクールプロジェクト
青山和裕（鳴門教育大学）

B会場 特別セッション 教育・医療現場でのコンピュータ適応型テストの実用化

オーガナイザー・司会：菊地賢一（東邦大学）

1. 言語テスト開発におけるアイテムバンキングの課題
中村洋一（常磐大学）
2. J-CAT におけるアイテムバンキングの課題
今井新悟（山口大学） 菊地賢一（東邦大学） 中村洋一（常磐大学）
3. コンピュータ適応型テストにおける Web 項目選択シミュレータの開発
平村健勝・今井新悟（山口大学） 菊地賢一（東邦大学）
4. 小規模テストのための汎用的コンピュータ適応型テストシステムの開発
菊地賢一（東邦大学）
5. 学校におけるコンピュータ適応型テストの活用
松宮 功（長岡京市立長岡第四中学校） 菊地賢一（東邦大学）
6. 産業メンタルヘルス第一次予防のための CAT/CBT システムの構築と現場試用
岩田 昇（広島国際大学） 菊地賢一（東邦大学） 藤原裕弥（東亜大学）
道家庚一（広島エルピーダメモリ）

C 会場 特別セッション 非対称データの解析 (1)

オーガナイザー：岡太彬訓（多摩大学） 千野直仁（愛知学院大学）

司会：宿久 洋（同志社大学）

1. Building a bridge between asymmetric MDS and analysis of square contingency tables
千野直仁・佐部利真吾（愛知学院大学）
2. 正方分割表における対称性の隔たりを測る尺度
田畑耕治・山本紘司・宮本暢子・富澤貞男（東京理科大学）
3. 歪対称行列の分布論と一対比較法
栗木 哲（統計数理研究所）
4. 正方分割表における対称性と非対称性のモデル
富澤貞男・田畑耕治（東京理科大学）

D 会場 一般セッション 社会・調査

司会：朝日弓未（東京理科大学）

1. 留学生のための防災教材作成に向けて—予備調査からの検討—
古川青奈・中村和男（長岡技術科学大学）
2. 救急通報時のトリアージアルゴリズム
川上ちひろ・大重賢治（横浜市立大学）
3. アジア・バロメーター調査における質問諸項目の交差国家的な等価性の検討
真鍋一史（関西学院大学）
4. 日中大学生の就職意識の比較調査
王 冲衡・朝日弓未・山口俊和（東京理科大学）
5. 日本と中国の首都圏大学生の相互イメージ比較
張 哲・朝日弓未・山口俊和（東京理科大学）
6. 日本人の中国に対するイメージ評価の構造分析
朝日弓未（東京理科大学） 生田目崇（専修大学）

9月5日（金）午後（13:00～15:00）

A 会場 特別セッション 統計解析に数式はいるか？

オーガナイザー：木村通治（埼玉自動車大学校）

司会：丸山久美子（聖学院大学）

1. 数学語か平常語か？
木村通治（埼玉自動車大学校）
2. 統計解析における数学のご利益と弊害
狩野 裕（大阪大学）
3. 犯罪心理学に数式は必要か？
横田賀英子（科学警察研究所）
4. カテゴリカルデータ分析におけるグラフィカル表示と数式
木村邦博（東北大学）

◇指定討論

山口和範（立教大学） 真鍋一史（関西学院大学）

B 会場 特別セッション 市民社会の調査と分析

オーガナイザー・司会：松本 渉（統計数理研究所）

1. 市民社会調査を実施して ―調査環境と調査誤差―
松本 渉（統計数理研究所）
2. 市民社会調査のデータ分析から考える安全保障政策に対する意識形成の要因
西舘 崇（東京大学） 芝井清久（上智大学） 松本 渉（統計数理研究所）
3. 日本人の安全保障観と投票行動 ―市民社会調査の結果から―
芝井清久（上智大学） 西舘 崇（東京大学） 松本 渉（統計数理研究所）
4. 住民基本台帳や選挙人名簿を使用しない調査の課題 ―環境と生活についての学術調査から―
片野洋平（鳥取大学）
5. 規範意識と環境配慮行動 ―東アジア四都市環境意識調査を中心に―
鄭 躍軍（総合地球環境学研究所）

C 会場 特別セッション 非対称データの解析（2）

オーガナイザー：岡太彬訓（多摩大学） 千野直仁（愛知学院大学）

司会：竹内光悦（実践女子大学）

1. 最尤非対称 MDS-ASYMMAXSCAL の理論と応用
佐部利真吾・千野直仁（愛知学院大学）
2. 非対称 MDS を用いたコード進行の構造分析
藤澤隆史（関西学院大学） 小杉考司（山口大学） 清水裕士（大阪大学）
3. 消費者の複数カテゴリー購買行動の非対称性の分析
中山厚穂（立教大学） 岡太彬訓（多摩大学）
4. 非線形モデルによる非対称類似度データの分析
今泉 忠（多摩大学）

D 会場 一般セッション 言語

司会：金 明哲（同志社大学）

1. 文章の執筆時期の推定―芥川竜之介の作品を例として―
金 明哲（同志社大学）
2. ワイン市場を支配するパーカーポイント分析 ―コメント（ボルドー赤）のテキストマイニング―
石田和枝・石田基広（徳島大学）
3. コルモゴロフ記述量に基づく類似度による文章の分類に関する計量分析
安部光弘（同志社大学）
4. ベイズ的正準相関分析の拡張と言語データへの適用
森 一将・繁榊算男（東京大学）
5. 言語変理論と通時的データー言語変化における反変化制約
小林茂之（聖学院大学）

賛助企業

本大会の開催にあたり、以下の企業からご支援を賜りました。ここにご芳名を記して、心より感謝の意を表します。

株式会社朝倉書店
エス・ピー・エス・エス株式会社
SAS Institute Japan 株式会社
シミック株式会社
株式会社数理システム
東京図書株式会社
明治製菓株式会社

(五十音順)

日本行動計量学会第36回大会実行委員会

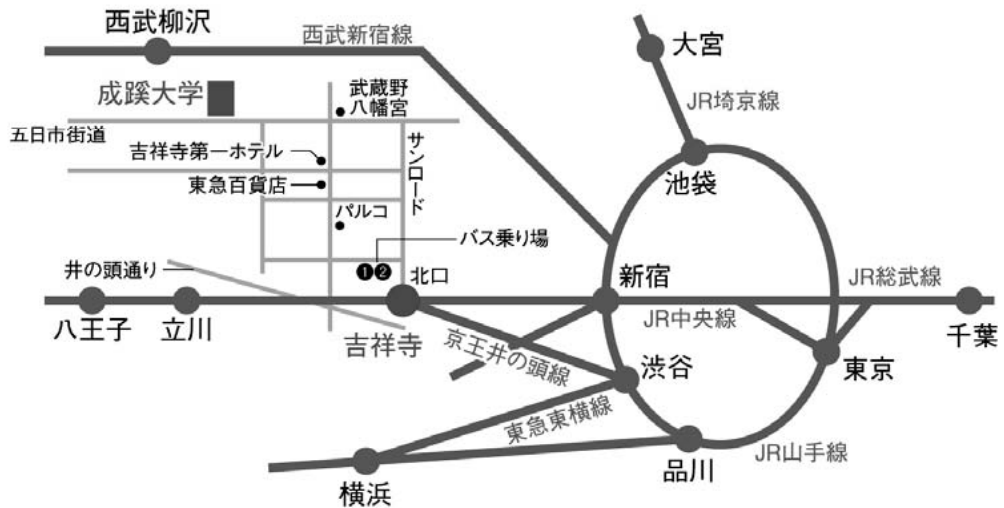
委員長 岩崎 学(成蹊大学 理工学部)
委員 上田 徹(成蹊大学 理工学部)
小方博之(成蹊大学 理工学部)
中西寛子(成蹊大学 経済学部)
林 文(東洋英和女学院大学 人間科学部)
村松大吾(成蹊大学 理工学部)
吉田清隆(成蹊大学 理工学部)
吉野諒三(統計数理研究所)

(五十音順)

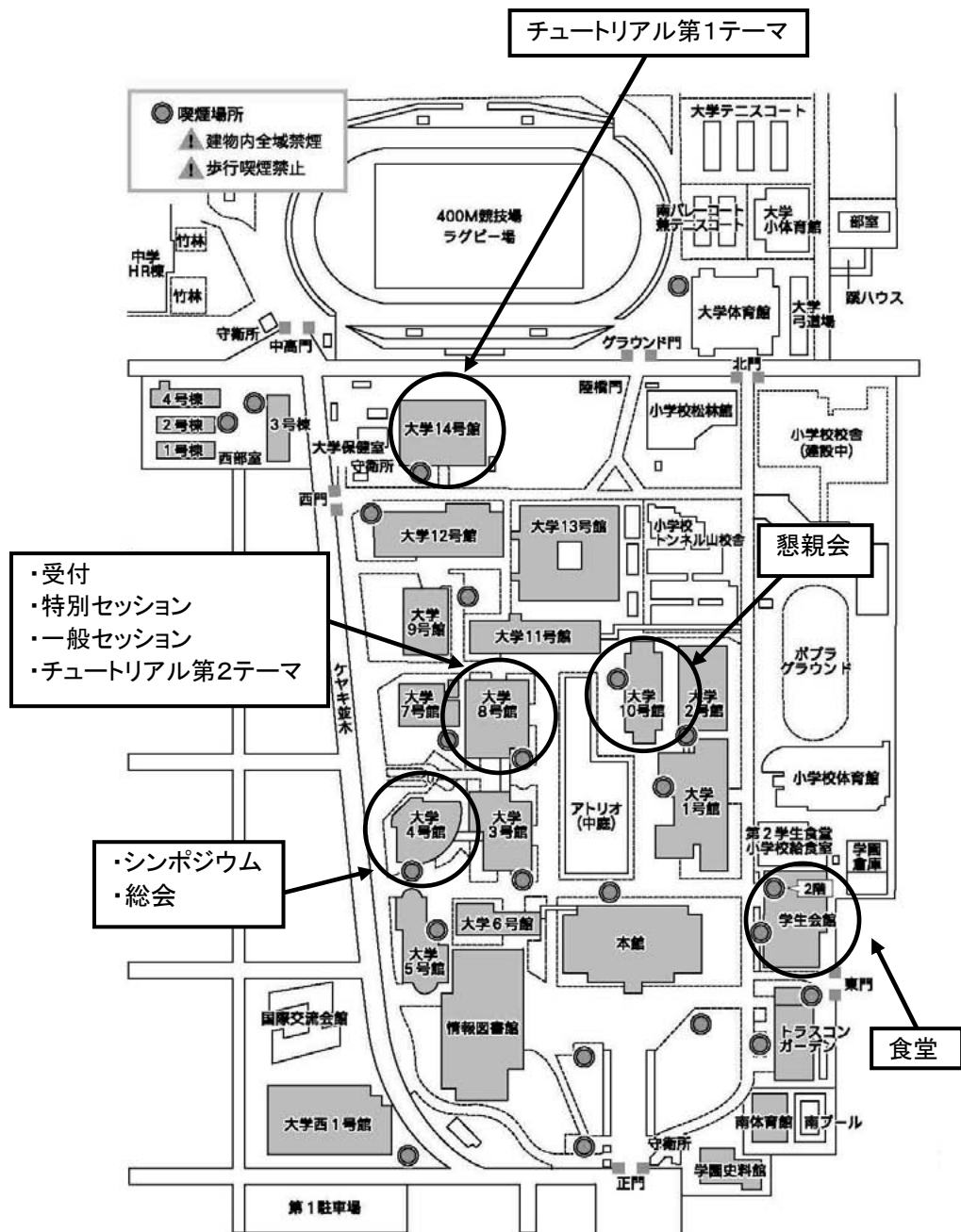
会場までのアクセス

■ アクセス

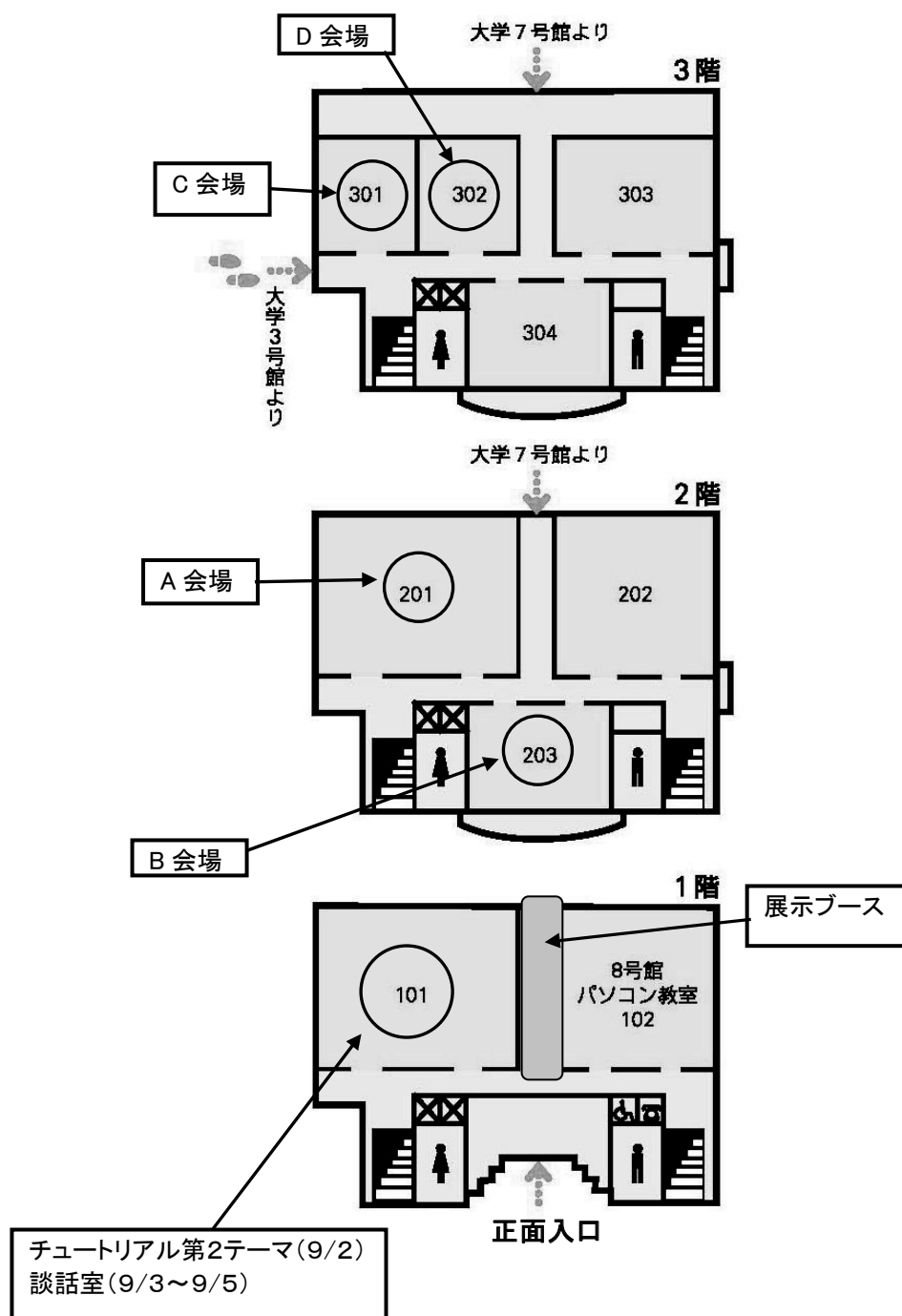
- ▶「吉祥寺」駅より:JR中央線・総武線(東京メトロ東西線)、京王井の頭線
 - ・徒歩約15分
 - ・北口バスのりば①②より関東バスで約5分「成蹊学園前」下車
- ▶「西武柳沢」駅より:西武新宿線
 - ・南口より関東バス(吉祥寺駅行き)で約20分「成蹊学園前」下車



キャンパスマップ



会場(8号館)見取図



正誤表（プログラム確定後の演題の追加・取消 2008.7.25）

p.5:「A 会場 特別セッション 好みの計量」において、6 番目の演題として

6. ネットワーク図によるデータ可視化システムの開発 佐藤邦宏（日経リサーチ）
を追加.

p.7:「D 会場 一般セッション 多変量解析」において、5 番目の演題を以下のように変更.

（変更前）5. 条件付共分散行列による因果のモデル化とベイズ推定
繁樹算男（東京大学）

（変更後）5. グラフィカルモデリングによる産学連携構造の分析
孫 媛（国立情報学研究所） 井上俊哉（東京家政大学）

以上